

【資料 4】

令和 7 年度在宅医療・介護連携推進事業 研修部会（案）

1. 目的

地域の医療・介護関係者が、お互いの業務の現状、専門性や役割等を知り、忌憚ない意見を交換できる関係が構築されることにより、現場レベルでの医療と介護の連携を促進し、もって地域包括ケアの向上を目的とする。

2. 部会委員（7 名）

職種	氏名	所属	役割
医師	高橋 公一	みさと中央クリニック	部会長
介護福祉士	三瓶 裕之	三郷ケアセンター	副会長
介護福祉士	山本 洋子	ファミリーケアみさと	
看護師	宮田 姫芳	アスカ訪問看護ステーション	
介護支援専門員	川津 清和	みさと協立病院居宅介護支援事業所	
作業療法士	我妻 祐哉	三郷中央総合病院	
★介護支援専門員	藤原 雅紀	地域包括支援センターしんわ	

※「★」は令和 7 年度からの新規委員です。

3. スケジュール

令和 7 年 6 月 第 1 回部会
7 月 第 2 回部会
9 月末 研修会
令和 8 年 1 月 第 3 回部会

※会議を 3 回、多職種向け研修会を 1 回、開催する予定。

4. 令和 6 年度実施内容

*三郷市多職種向け ACP 研修会

日 時 : 令和 7 年 3 月 1 日（土）
会 場 : 三郷中央におどりプラザ会場／WE B 配信（Z o o m）
内 容 : 三郷市内サービス事業者による事例発表とグループワーク
テーマ : 「三郷市在宅サービス ACP の現状」
事例発表者 : 三郷中央総合病院 リハビリテーション 須田 啓
みさと協立病院 居宅介護支援事業所 川津清和
総 括 : みさと中央クリニック 院長 高橋公一先生

5. 予算 40 万

6. 令和7年度に検討する三郷市の課題

(1) 三郷市在宅医療・介護連携推進協議会の課題と研修部会の課題

- ① 急変時の対応（急変時の連携体制、支援者の知識向上啓発）
- ② 日常の療養支援（MC Sの活用・各職種の専門性に対する理解不足等）
- ③ ACP アドバンスケアプランニング（在宅看取りを含む）
- ④ BCP（介護施設・事業所の業務継続計画）

＊三郷市在宅医療・介護連携推進協議会の課題と研修部会の課題の中で、令和7年度第1回の会議において今年度の方針を決定します。

7. 今年度の方針案について

- ・色々な職種が意見を出せるように発信できる情報を増やして有意義な研修としたい。
- ・症例検討会やディスカッションなどの意見交換を大切にしながら、多職種連携として三郷市の課題を検討していく。